

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスホサナ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 26日		2026年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 26日		2026年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療ケア児が安心して利用できる体制が整えられている	・看護師、保育士、OTで個別支援計画に沿って支援を行っています。保護者や関係機関と連携し専門的なケアを提供することで安心・安全な余暇活動を提供できています。また、保育士、児童指導員等の職員のほとんどが喀痰吸引研修を受講し終了して喀痰吸引や注入のケアができます。	幅広いセラピスト(ST、PT、心理カウンセリング、リラクゼーション)による研修を計画していき、チームで支援できる体制作りを強化していきます。
2	外出支援、大きなイベントでの家族交流会を行っている。	外出支援はほぼ毎日少人数で行っている。大きなイベント(クリスマス会、入学・卒業式)では家族交流も兼ねて地域の公民館を借りて企画しています。	イベントでは家族交流の機会を持っていますが、家族懇談会の開催が不定期になっている為、今後は定期的に開催していきます。
3	事業所内に短期入所サービスがあり日中、夜間帯と子どもたちの支援ができる	平日の短期入所利用時は入浴から、翌日の準備、学校への送迎まで行っています。顔なじみの職員、日中と同じ建物内の為、場所見知りもほとんどなく、日中の申し送りも細かく伝達でき安心して過ごすことができます。同法人内に生活介護事業所もあり、児童デイサービス卒業後は生活介護の利用も可能。	短期入所の開所日を増やし、子ども達の支援を中心にきょうだい児支援や、保護者のレスパイトに繋げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の訓練、保護者への周知	災害時訓練は行っているが、参加できていない職員もいて全職員に周知できていない。保護者への書面での中地も出ていない。	定期的な災害訓練を行い、全職員への訓練への参加を行い保護者へ通知していく。
2	他事業所や地域との交流が少ない	散歩や児童園などに出かけてはいるが、あいさつ程度で交流が出来ていない。	近隣の小学校や子ども園等と定期的な交流会を持っていく。近隣の児童デイサービスとも情報交換しながらイベント等を通し交流することを具体的に検討していく
3	家族参加の研修が少ない	企画は行っていて案内はしているが参加がほとんどない。	保護者や家族にどのような事に興味があるのか聞き取りしていき、興味のある研修を取り入れていく。研修の日に時にも工夫していく